

「せたな町」の農業・農村の概要

平成26年3月

I 位置と自然環境

せたな町は北海道の南西部、日本海に面した檜山振興局管内の北部に位置し、北は島牧村、東は今金町、南は八雲町に接しており、西は、日本海をはさんで奥尻島を望んでいます。

北部と南部に広がる山地の中間を清流「後志利別（しりべしとしべつ）川」が流れ、北部には道南の最高峰狩場山など千メートル級の山々、南部には遊楽部岳や白水岳などが連なり、海岸には三本杉岩、親子熊岩などの奇岩、怪岩が続く景勝地に囲まれています。

せたな町では、こうした豊かな自然の中で、後志利別川などの清流を活かした稲作を中心に、畑作・野菜、酪農・畜産など多様で豊かな農業が展開されています。



II 農業の概要

1 農家戸数等

(1) 戸数、人口

販売農家戸数は361戸、農家人口は1,320人で減少傾向（総経営体数513戸（うち専業179、第1種兼業127、第2種兼業55、自給的農家152）2010年農林漁業センサス）。

農業就業人口は950人で、うち65歳以上が約3分の1を占め、高齢化が進展。

新規就農者数は25年までに33名。内訳は、新規学卒が11名、Uターン23名、新規就農9名。

認定農業者数は276人、法人数は9法人。

(2) JA組合員数等

JAの組合員戸数は327戸で、平均年齢は58歳。

そのうち後継者がいる割合は52戸(16%)に過ぎない。

年齢構成は、60代以上が47%以上を占め高齢化が進展。

□ 農家戸数及び農業就業人口等の推移

区分	平成2年	12年	22年	22/H2	備考
販売農家戸数(戸)	909	416	361	40%	・認定農業者数 276人
農家人口(人)	3,535	2,536	1,320	37%	・法人数 9法人
(参考)町全体人口(人)	13,389	11,842	9,590	72%	(24年2月1日現在)
農業就業人口(人)	1,660	1,033	950	57%	
うち65歳以上割合(%)	23%	31%	33%	-	
新規就農者数(人)	33(H15～25年の計)				年当たり3.3人

資料：戸数、農家人口等は、農林水産省「世界農林漁業センサス」

町の人口は、「住民基本台帳」、新規就農者数は北海道農政部調べ。

□ JA別正組合員戸数等

区分	正組合員数	うち後継者有	平均年齢	年齢構成(%)				
				20・30代	40代	50代	60代	70代以上
JAきたひやま	198	28	57	9%	17%	30%	27%	17%
JA新はこだて若松	129	24	59	6%	17%	29%	36%	12%
合計	327	52	58	8%	17%	30%	32%	15%

資料：各JA資料（JAきたひやまは25年10月現在、JA新はこだては25年4月1日現在）

2 耕地

(1) 耕地面積

耕地面積は、5,970ha（田が43%、畑が57%）。
20年前に比較して、田が98%に対し、畑が88%と減少率が高い。

(2) 農地の規模等

経営耕地面積規模別戸数は、5ha以下の経営体が31%、5～20haの経営体が46%で、双方合わせて77%。

農地の団地数は、3団地以上を所有している農家が66%、農地が分散していると答えた農家が57%。

(3) 土づくり

輪作は、畑作4品のうち豆類が多い一方、麦類、てん菜の作付が少ない。

たい肥を施用している農家は55%に過ぎず、輪作体系の確立と合わせて土づくりが課題。



□ 耕地面積の推移

区分	平成5年	12年	22年	23年	24年	備考
耕地面積(ha)	6,460	6,022	5,950	5,950	5,970	
田	2,574	2,652	2,530	2,530	2,480	
畑	3,883	3,370	3,420	3,420	3,490	
耕作放棄地等面積(ha)	-	-	4.8	0.7	6.1	

資料：農林水産省「世界農林漁業センサス」、耕作放棄地はせたな町農業委員会

□ 経営耕地面積規模別経営体数(2010年)

区分	～5ha	5～20	20～30	30以上	合計	備考
農業経営体・総数	121	182	42	48	393	
(構成比:%)	31%	46%	11%	12%	100	

資料：2010年世界農林漁業センサス

□ 農地の団地数及び分散状況

農地の団地数	回答数	構成比	農地の分散状況	回答数	構成比
1団地	18	18%	農地の分散が著しい	19	19%
2団地	16	16%	分散している農地もある	38	38%
3団地	66	66%	農地はあまり分散していない	43	43%
合計	100	100%	合計	100	100%

資料：せたな町調べ（24年8月せたな町農業者へのアンケート調査）

□ せたな町における輪作の状況

(単位：ha)

区分	麦類	豆類	馬鈴しょ	てん菜	野菜	計
面積	90.0	370.0	170.0	56.0	73.3	759.3
比率	11.9%	48.7%	22.4%	7.4%	9.7%	100.0%

資料：檜山振興局（平成24年）

□ たい肥の施用状況等

たい肥施用の有無	回答数	構成比	たい肥を施用しない理由	回答数	構成比
施用している	49	55%	手間	23	48%
していない	40	45%	金がかかる	12	25%
合計	89	100%	その他	13	27%
			合計	48	100%

資料：せたな町調べ（24年8月せたな町農業者へのアンケート調査）

3 農業産出額と所得

(1) 農業産出額及びJA出荷額

農業産出額（JA出荷額）は、約43億円で町内の販売額の23%を占め、漁業とともに町の主要産業。

今金町の485億円について檜山管内で2番目の産出額を誇る農業生産額となっている。

その内訳は、耕種が約6割、畜産が4割。その中でも米が37%、生乳等が29%を占める。

<参考1>せたな町の関連産業生産額等

農業	44億円(25年)
林業	0.3億円(22年・森林組合調べ)
漁業	13億円(22年・道水産林務部調べ)
製造品	8億円(22年・工業統計調査)
商品販売	130億円(22年・商業統計調査)
合計	195億円

<参考2>檜山管内のうち農業産出額（18年）のトップ3

今金町	49億円
せたな町	41億円
厚沢部町	35億円

(2) 農業所得水準

せたな町の農家1戸当たりの生産農業所得は、2,686千円で全道の中でも最低水準となっている。

また、耕地10a当たりの生産農業所得についても26千円/10aで低い水準となっている。

他産地のような生産性の向上や単価の高い生産の確立が課題。

□ 農業産出額及びJA出荷額の推移

区分	平成2年	12年	18年	23年	24年	25年
農業産出額（百万円）	5,710	4,760	4,070	3,872	4,348	4,385
うち耕種	3,450	2,780	2,420	2,141	2,592	2,516
うち米	—	—	1,420	1,304	1,789	1,617
うち雑穀・豆類	—	—	190	156	178	159
うちいも類	—	—	430	339	296	393
うち野菜等	—	—	250	342	329	347
うち畜産	2,250	1,970	1,650	1,731	1,756	1,869
うち肉用牛	—	—	290	420	415	514
うち生乳・乳用牛	—	—	1,240	1,212	1,247	1,251
うち豚等	—	—	90	99	94	104

資料：18年までは、農林水産省「農林水産統計年報」、23年以降はJAの取扱高の計

□ 生産農業所得（農業の生産性）について

区分	農家1戸当たり生産農業所得(千円)	耕地10a当たり生産農業所得(千円)	備考
せたな町	2,686	26	
檜山管内	3,071	35	
全道	6,333	32	
今金町	5,499	38	男爵
厚沢部町	4,580	46	メークイーン
北斗市	2,675	55	園芸
知内町	3,832	57	にら
夕張市	4,825	161	メロン
岩見沢市	6,014	53	米、玉ねぎ
豊浦町	4,802	26	いちご、豚
蘭越町	3,572	33	米、トマト
当麻町	3,100	49	米、スイカ
士幌町	14,870	38	畑作、畜産
中札内村	18,448	40	枝豆
別海町	10,119	15	酪農

資料：農林水産省「生産農業所得統計」（18年）

生産農業所得とは、農業総産出額から物的経費（減価償却費及び間接税を含む）を控除し、経常補助金等を加算した農業純生産（付加価値額）。

4 農業生産

(1) 農産物生産の動向

米の作付面積は、近年微減で推移しているが、主食用米の作付は大幅に減少している。

転作作物として重要な品目である小麦とてんさいは、減少を続けている。

一方、豆類並びに馬鈴しょは、近年横ばいで推移。

旧北檜山町時代の重要な基幹野菜品目であったほうれんそうは減少傾向。一方で、新たな基幹品目として、ブロッコリーの作付が近年増加。

牧草並びに青刈りトウモロコシの作付面積は、平成5年、12年に比較して減少したが、近年は横ばい傾向。

□ 主食用米、加工用米、新規需要米等の推移 (単位：ha)

区分	平成23年	平成24年	平成25年
主食用	1,268	1,261	1,218
加工用米	278	226	101
新規需要米	35	66	45
その他	24	27	297
合計	1,605	1,580	1,661

資料：せたな町。作付面積の合計は国の報告と一致しない。

□ 主な農産物の生産動向

区分		平成5年	12年	17年	22年	23年	24年
米	作付面積 (ha)	1,882	1,592	1,530	1,590	1,570	1,520
	単収 (kg/10a)	504	494	552	530	532	556
	生産量 (t)	9,480	7,857	8,440	8,410	8,350	8,440
小麦	作付面積 (ha)			60	28	27	
	単収 (kg/10a)			233	361	241	
	生産量 (t)			140	101	65	
大豆	作付面積 (ha)	48	105	229	247	230	
	単収 (kg/10a)	206	214	204	117	162	
	生産量 (t)	99	225	468	290	372	
小豆	作付面積 (ha)	169	202	100	123	140	
	単収 (kg/10a)	194	222	218	226	173	
	生産量 (t)	328	448	218	278	242	
ばれいしょ	作付面積 (ha)	213	228	157	170	183	
	単収 (kg/10a)	2,651	2,757	3,240	3,030	2,730	
	生産量 (t)	5,647	6,285	5,080	5,160	5,000	
てんさい	作付面積 (ha)	—	—	78	56	42	
	単収 (kg/10a)	—	—	5,430	3,360	3,550	
	生産量 (t)	—	—	4,250	1,880	1,500	
ほうれんそう	作付面積 (ha)	41	40	29	24	—	
	単収 (kg/10a)	1,100	900	1,000	894	—	
	生産量 (t)	445	360	283	215	—	
ブロッコリー	作付面積 (ha)	—	—	—	—	32	
	単収 (kg/10a)	—	—	—	—	1,040	
	生産量 (t)	—	—	—	—	332	
牧草	作付面積 (ha)	3,280	2,920	2,910	2,031	2,214	
	単収 (kg/10a)	3,335	3,068	3,140	2,420	2,800	
	生産量 (t)	109,400	89,600	91,600	49,150	61,992	
青刈りトウモロコシ	作付面積 (ha)	284	157	92	141	120	
	単収 (kg/10a)	5,151	5,318	5,200	3,940	4,480	
	生産量 (t)	14,630	8,350	4,780	5,555	5,376	

資料：農林水産省「農林水産統計年報」、檜山振興局調べ

注：米、大豆、小豆の平成5年の値は、冷害年であったことから6年の値

(2) 米の品種別作付動向等

米の品種の作付動向は、近年「ななつぼし」並びに「ふっくりんこ」が増加し、「ほしのゆめ」並びに「きらら397」が減少傾向。25年には、新品種「きたくりん」の作付が開始(13ha)。

□ 米の品種別作付面積の推移

(単位：ha)

区分		19年	20年	22年	23年	24年	25年	備考
品種別作付面積	きらら397	473	372	300	202	157	112	
	ほしのゆめ	390	183	18	19	13	11	
	ななつぼし	519	543	746	729	706	737	
	ふっくりんこ	75	199	309	361	361	364	
	おぼろづき	136	211	67	86	68	31	
	ゆめぴりか	0	0	104	172	170	197	
	その他	6	85	78	9	86	32	
合計	1,599	1,593	1,622	1,578	1,561	1,484		

資料：品種別作付面積は檜山振興局調べ、直播面積・有機栽培はせたな町調べ

注：有機栽培面積は23年の値(うちJAS認定が0.7、自然栽培が0.6)

水稻の配分数量は年々減少を続け、26年は6,037トン。米生産数量目標の得点が全道平均より低い結果、北海道への配分数量よりも高い割合で減少している。

転作作物面積は、飼料用作物が32%と一番多く、大豆や麦は比較的少ない。近年、非主食用米の作付が増加している。

□ 水稻の配分数量及び転作面積の推移

区分		H20	21	22	23	24	25	26
せたな町への水稻配分数量(t)		6,695	6,708	6,636	6,393	6,381	6,241	6,037
北海道への水稻配分数量(t)		598,930	605,720	604,510	584,180	584,300	572,940	554,140
転作作物面積(ha)	麦類	1,900	1,500	220	861		2,148	2%
	大豆	12,300	12,400	12,000			17,995	14%
	飼料作物	37,900	38,400	36,920			39,572	32%
	非主食用米	—	—	27,280			35,334	28%
	その他	34,000	33,200	28,990			29,609	24%
合計	86,100	85,500	105,410	861	0	124,658	100%	

資料：檜山振興局、せたな町。

↑ H25の比率

注：非主食用米とは、飼料用米、加工用米、備蓄米、バイオ米

注：H20、H21の非主食用米はその他に含まれる

米生産数量目標に係る得点は、平成25年までは全道平均よりも低かったが、収量の安定性が改善された結果、26年の値は全道を上回った。

□ 米生産数量目標に係る得点

区分	H23		H24		H25		H26	
	北海道	せたな町	北海道	せたな町	北海道	せたな町	北海道	せたな町
収量安定性		40.388	74.428	41.000	72.374	30.953	81.157	89.759
一等米		70.268	69.970	73.456	70.271	73.338	72.504	74.929
低タンパク		34.314	32.863	33.751	20.563	14.683	24.179	30.533
クリーン農業等			9.523	4.105	10.134	5.210	10.815	5.758
産地指定		69.869	67.956	66.950	60.934	65.049	61.833	71.920
合計	0.000	214.839	254.740	219.262	234.276	189.233	250.488	272.899

資料：北海道。23年産はクリーン農業の取組加算は対象外

(3) 野菜の作付動向

野菜は、「ほうれんそう」の作付が一番多いが、近年減少傾向で24ha。
近年、高収益作物として期待されている「ブロッコリー」が増加傾向。

他の野菜は、小規模な作付けとなっている。

□ 野菜の作付面積、単収、収穫量 (単位：ha、kg/10a、t)

区分	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
ほうれんそう	面積	38	29	28	25	32	27	24
	単収	850	973	1,000	1,037	844	1,015	894
	収穫量	323	283	283	245	266	274	215
ブロッコリー	面積				13	18	20	19
	単収				1,506	1,193	1,201	951
	収穫量				193	210	239	176
だいこん	面積	12	10	11	10	6	7	6
	単収	3,567	3,930	4,060	3,604	3,391	3,569	1,667
	収穫量	428	409	434	204	156	232	100
にんじん	面積	2	2	1	2	1	1	1
	単収	2,650	2,150	2,800	1,495	1,200	1,600	511
	収穫量	53	43	28	13	12	8	5
ねぎ	面積	5	3	3	3	2	1	4
	単収	2,240	4,090	3,930	2,900	3,333	9,000	2,073
	収穫量	112	139	118	35	50	90	91
トマト	面積	0	1	0	1	0	-	1
	単収	2,500	3,000	2,750	1,900	1,900	-	6,434
	収穫量	15	15	11	9	2	-	51
かぼちゃ	面積	17	10	12	11	8	4	7
	単収	788	1,100	1,000	1,020	1,020	2,057	1,368
	収穫量	134	109	130	128	76	72	94
メロン	面積	2	2	2	2	2	2	1
	単収	2,750	2,710	2,530	2,200	2,200	1,688	1,512
	収穫量	55	65	43	26	35	27	17
スイートコーン	面積	18	16	14	11	13	10	4
	単収	583	491	636	557	557	653	747
	収穫量	105	79	89	63	63	62	26
アスパラガス	面積	14	9	7	6	3	1	3
	単収	214	239	303	199	346	333	114
	収穫量	30	21	20	10	9	2	4

資料：農林水産省（北海道農林水産統計年報）、ブロッコリーはJA調べ

(4) 野菜の作付動向

花きは、「ストック」と「キンギョソウ」が作付されている。

□ 花きの作付面積、生産額 (単位：ha、千円)

区分	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
ストック	面積		29	100	60	61	61	210
	生産額		3,462	8,982	11,055	11,155	11,155	11,116
キンギョソウ	面積		253	70	50	50	50	250
	生産額		2,346	5,572	12,470	12,394	12,394	6,708

資料：檜山振興局調べ

(5) 畜産物の生産動向

乳用牛の飼養戸数は近年微減の一方、肉用牛の飼養戸数はほぼ横ばい。

乳用牛並びに肉用牛の飼養頭数は、年次変動はあるものの、ほぼ横ばいで推移。

この結果、生乳生産量、個体販売頭数も横ばいで推移。

□ 主な畜産の生産動向

区分		平成5年	12年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
飼養戸数 (戸)	乳用牛	110	70	62	60	60	58	57	54
	肉用牛	60	50	32	26	28	28	28	28
	豚	10	10	4	16	2	2	2	2
	採卵鶏			2	0	0	1	1	1
	馬			5	13	4	9	8	5
飼養頭数 (頭)	乳用牛	4,380	3,290	2,772	3,035	3,114	3,037	3,102	3,035
	肉用牛	3,460	3,150	1,525	1,411	1,771	2,112	2,218	1,872
	豚	5,160	3,810	40	X	X	1,505	1,176	1,406
	採卵鶏				X	X	900	900	900
	馬				44	7	39	35	30
1戸当 飼養頭	乳用牛	40	47	45	51	52	52	54	56
	肉用牛	58	63	48	54	63	75	79	70
生乳生 産量	町全体		15,389			16,294	14,418	14,680	13,246
	戸当たり		220			272	249	258	245
販売頭 数	乳用牛						199	244	316
	肉用牛						2,737	2,785	2,548
	豚等						3,368	2,661	2,962

資料：農林水産省「農林水産統計年報」、23年以降はJA聞き取り

注：「X」は非公表。

乳検成績のうち、1頭当たり乳量は上昇傾向。

□ 乳検成績の推移

区分		H22	H23	H24
1頭当たり乳量 (kg/頭)	北檜山	7,993	8,186	8,459
	瀬棚	7,324	7,524	7,681
乳飼比 (%)	北檜山	26	27	25
	瀬棚	24	25	23
体細胞 (万)	北檜山	24	22	28
	瀬棚	25	24	27

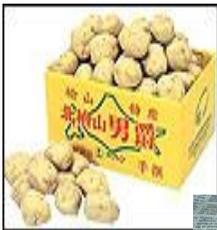
資料：北海道酪農検定検査協会

注：乳飼比とは、配合飼料購入量/乳量のこと、値が低いほど購入飼料に対し効率よく生産

注：体細胞とは、乳汁中に含まれる白血球と脱落上皮細胞その他の総称で乳房炎感染の指標

Ⅲ せたな町の農畜産物のご紹介

1 代表的な農畜産物について

米	馬鈴しょ・大豆・小豆	野菜	畜産
<p>清流日本一の後志利別川や真駒内川、太櫓川などの清らかな水と肥沃な大地から美味しいお米が生産されています。主な品種は、「ふっくりんこ」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」などで「函館育ちブランド」として高い評価を得ています。</p> <p>また、一部では有機栽培などの特色ある米づくりも展開されています。</p>  	<p>米に続いて生産量が多いのが馬鈴しょ、大豆、小豆です。特に馬鈴しょは、雪解けの早い道南の特色を活かし、都府県へ一番乗りで出荷されていて、でんぷん質の値も高く、食感が優れており、消費者からも大好評です。</p>  	<p>様々な品目の野菜が生産されています（ほうれんそう、大根、シイタケ、メロンなど）。最近ではブロッコリーの作付が増加しています。</p>    	<p>生乳約1万5千トンを生産するとともに、肉用牛約1,700頭を飼育する檜山管内一の畜産地帯です。また、酪農・肉用牛のほか、養豚や養鶏、羊など特色ある畜産経営も展開されています。</p>    

2 特色ある生産者

せたな町では米や馬鈴しょなどの畑作物、野菜、生乳、牛肉などの主要農畜産物のほか、有機農業や放牧畜産など豊かな自然の中で特色ある経営も数多く展開されています。

項目	農場名等	写真	概要	主な製品	住所	ホームページ・TEL・FAX
有機農業	ワタミ ファーム 瀬棚農場		ほうれんそうや大根などの有機野菜のほか、日本で初めて有機認証を受けたアイスクリームやチーズ、鶏卵などを生産。	有機JASアイスクリーム、チーズ、バター、ほうれんそう、大根、キャベツ、玉レタスなど	久遠郡 せたな町 瀬棚区 東大里 379-11	http://www.watamifarm.co.jp/ TEL : 0475-80-8085 FAX : 0475-89-0111
	(有) 秀明 ナチュラル ファーム		農薬、化学肥料を一切使用しない自然農法で水稻、大豆、菜種などを栽培し、これらの製品や加工品（酢、油、納豆等、きなこ、甘納豆等）を販売。	うるち米、大豆、純米酢、菜たね油、パング納豆、深煎りきな粉、黒豆納豆など	久遠郡 せたな町 瀬棚区 東大里 188-31	http://setana.info/snf/ TEL/FAX 0137-87-3900
	せたなオー ガニック倶 楽部		自家製の有機質肥料を使用するとともに、アイガモ農法による雑草や害虫防除で、おいしいお米を栽培。	有機栽培米 (玄米、精米)	久遠郡 せたな町 瀬棚区 本町 485	http://setana.info/sog/index.html FAX 0137-87-2438
	よしもりま きば		機械には頼らず、自然のままに、土の潜在能力を在るべき状態まで引き出す循環的な有機農法に取組。有機栽培ミニトマトや自然栽培大豆、自然栽培米おぼろづきを栽培するとともに、とまとひつじ（有機トマトを食べて育った羊）を飼養。	とまとひつじ、有機栽培ミニトマト、自然栽培大豆など	久遠郡 せたな町 北檜山区 愛知 275	http://www.farming.jp/voshimori-blog/ TEL/FAX 0137-84 -4188
クリーン 農業	(株) なな 実		農作物は、減農薬を心がけ栽培。また、最近では、自社の馬鈴しょと地元のブランド豚を使った農家のコロッケを販売。	お米、ジャガイモ、小豆、大豆、イチゴジャム、スイートコーン、馬鈴しょ、農家のコロッケなど	久遠郡 せたな町 北檜山区 二俣 107	http://www4.ocn.ne.jp/~nanami/501.html TEL/FAX 0137-85-1655
自然栽培	金谷農場		肥料・農薬を使用せず、太陽の恵みと土と水、そして、農作物の生命力を信じて作物を育てる自然栽培で米を栽培。	米（白米、七分搗き玄米）	久遠郡 せたな町 北檜山区 二俣 216	http://www.shizenou.org/index.html TEL/FAX 0166-85-7400
酪農	村上牧場		ホルスタイン種とジャージー種、ブラウンスイス種を海の見える草地で放牧主体で飼育。アイスクリームやチーズも加工・販売。	手作りアイスクリーム、ケーキ、モッツァラレラチーズなど	久遠郡 せたな町 瀬棚区 西大里 359	http://www12.plala.or.jp/mkfarm/ TEL/FAX 0137-87-2009
	大津牧場 (ひそっ ぶ)		アイスクリームやプリンを自分のところで搾った生乳で加工・販売。	ソフトクリーム、ジェラート、プリン、のむヨーグルトなど	久遠郡 せたな町 北檜山区 丹羽 451	http://www.hyssop-ice.com/ TEL/FAX 0137-84-4728

項目	農場名等	写真	概要	主な製品	住所	ホームページ・TEL・FAX
養豚	(有) 高橋畜産		豚にとってストレスの少ない衛生的な環境で育つため脂身に甘みがあり、柔らかい肉質が特徴の豚肉高橋畜産で育てられた豚の中でも、特に上質のものだけをブランド肉「若松ポークマン」として販売。	豚肉（若松ポークマン）	久遠郡 せたな町 北檜山区 松岡 343	http://www17.plala.or.jp/takahashi-chi/ TEL/FAX 0137-84-6325
	ファームブ レックスド ウインド		北海道では珍しい放牧で黒豚を飼養。なるべく手作りでなるべく自然に近くなるべく手間をかけて豚を育てています。	黒豚（生肉）	久遠郡 せたな町 瀬棚区 字共和 836-2	TEL/FAX 0137-87-2422
養羊	小野めん羊 牧場		草食動物である羊を健康に育てるため放牧主体で飼育。羊の種類は数種の品種を掛け合わせた雑種ラム肉等を販売。	ラム肉（焼肉用、煮込み用、しゃぶしゃぶ用）、ミンチ、しーぶじゃーきー、羊毛など	久遠郡 せたな町 北檜山区 松岡 346-8	http://www6.ocn.ne.jp/~ono-men/ Tel・Fax/0137-85-1580
養鶏	モリガキ農園		化学物質なし・国産100%のエサで平飼いの自然養鶏。その鶏から生まれた卵と卵を使用したプリンを販売。	自然有精卵、プリン	久遠郡 せたな町 瀬棚区 東大里 254-1	http://www13.plala.or.jp/morigaki/ Tel・Fax/0137-87-2141
養蜂	水流養蜂園		アカシアの花からとれた天然ハチミツを製造。まるやかな風味で癖がなく食べやすい天然のはちみつ。	アカシア天然ハチミツ	久遠郡 せたな町 北檜山区 徳島 23-54	http://nttbi.itp.ne.jp/0137845603/index.html Tel・Fax/0137-84-5603

資料：各農場のホームページなどを参考にせたな町で作成。
注：各商品については、各農場にお問い合わせください。

3 酒

せたな町のお米で作った日本酒、焼酎も製造・販売されています。

項目	商品名	写真	概要	お問い合わせ先
日本酒	吟子物語		合鴨農法有機米を使用したせたな町の特産純米酒。	せたな町酒販店組合（商工会内） TEL. 0137-87-
	純米酒よしこ		北檜山産の「きらら397」を100%使用。芳醇で辛口の味わいは新鮮な魚介や鍋にピッタリ。	温泉ホテルきたひやま TEL. 0137-84-4120
	純米吟醸酒 北の白虎		JA新はこだて北の白虎ブランド誕生15周年を記念して造られました。若松地区で生産された「ふっくりんこ」で仕込んだ純米吟醸酒。キリリとした辛口のお酒です。	Aコープ若松店 TEL.0137-85-1322
焼酎	吟子物語米焼酎 風見鳥		合鴨農法有機米を70%使用して造られた「吟子物語米焼酎 風海鳥（かざみどり）」は、身体にやさしい安心して飲める乙類焼酎。	せたな町酒販店組合（商工会内） TEL. 0137-87-

4 せたな町の農畜産物の主な取扱店舗

店名	主な販売品、おすすめ商品	住所・電話番号	ホームページ
J Aきたひやま Aコープ	お米（おぼろづき、ななつぼし、ほしのゆめ）、男爵いも、メロンなど	〒049-4595 久遠郡せたな町北檜山区北檜山20番地 TEL：0137-84-5311	http://www.hokuren.or.jp/ja/kitahiyama/index.html
J A新函館若松基幹支店 Aコープ	お米（北の白虎米、ふっくりんこ等）、ヤーコン、シイタケ、若松ポークマン、羊肉など	〒049-4752 久遠郡せたな町北檜山区若松300番地1 TEL：0137-85-1331	http://www.ja-shinhakodate.jp/wakamatsu.html
フードセンターかんの	お酒（吟子、よしこ）若松ポークマン、シイタケ、メロン、など	〒049-4501 久遠郡せたな町北檜山区北檜山366番地6 TEL：0137-84-5817	
温泉ホテル きたひやま	アカシアハチミツ、吟子アイス、こだわりプリンなど	〒049-4512 久遠郡せたな町北檜山区徳島4番地16 TEL：0137-84-4120	http://www.hotel-kitahiyama.com/
わかかけ岩	有機ワタミファームソフトクリーム、ワタミファームパンアイス、黒豚ロースステーキ定食など	〒049-4821 久遠郡せたな町瀬棚区三本杉94 TEL：0137-87-2303	http://wackake-rock.com/blog/
HUGマート（札幌）	なな実製品（お米、男爵、ジャム、大豆）など	〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西5丁目 東宝プラザビル1F（狸小路5丁目） TEL：011-242-8989	http://www.s-hug.jp/
JA新函館ライスバンク	「函館育ち」北の白虎米	〒041-1226 北海道北斗市村内545-1 TEL：0138-84-8737	http://www.e-fsc.net/jashinhakodate/